



2学期も前半が勝負!! ～挑戦の一步を大切に～

校長 平山 公紀

夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。1学期の終業式で、私は皆さんに「夏休みは前半が勝負」という話をしました。夏休みを有意義に過ごせる人は、最初の1週間を大切にし、よい流れをつくることができる人です。最初の一步が、その後の充実につながるということを伝えました。

実は、このことは2学期にもそのまま当てはまります。私は「2学期も前半が勝負」だと思っています。2学期が始まると、すぐに中間考査があります。1学期の期末考査を振り返り、「もう少し計画的に勉強しよう」「学習方法を変えてみよう」と考えた人もいたことでしょう。夏休み中に改善に取り組んだ人は、その成果を発揮する時です。

新しい学習方法に挑戦することや、自分で決めた目標に向かって努力することは、決して簡単ではありません。しかし、その一步を踏み出すことが成長につながります。本校では、「前向きな挑戦ができる学校」「仲間の挑戦を受け入れ、応援できる学校」を目指し、魅力ある学校風土づくりを進めています。



挑戦には勇気が必要です。しかし、失敗を恐れていては成長できません。また、挑戦する人を笑ったり否定したりする雰囲気の中では、誰も安心して挑戦することができません。だからこそ、自分が挑戦するだけでなく、仲間の挑戦を認め、応援することが大切です。中間考査に向けて、互いに励まし合い、教え合うことも、その一つだと思います。

中間考査が終わると、10月には本校の2大行事の一つである音楽会があります。音楽会では、一人ひとりが役割を果たしながら、クラスのチーム力を高めていくことが求められます。実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーなどのクラスの代表だけでなく、一人ひとりの勇気ある挑戦が必要となります。



そして、その挑戦を支えるのは周りの仲間です。今年の運動会でも、一人では生み出せない大きな力を仲間とともに発揮する姿がたくさん見られました。音楽会でも、その経験を生かし、互いに励まし合いながらクラスや学年の素晴らしい合唱を創り上げてほしいと思います。

2学期は長い学期です。しかし、学習も行事もよい流れをつくれるかどうかは、このスタートの時期にかかっています。まずは、中間考査に向けた学習への挑戦、音楽会に向けたクラスづくりへの挑戦、生徒会をはじめとする後期委員会等への挑戦など、一人ひとりが新しいことに挑戦し、その姿を仲間が認め、支え、応援する。そのような姿が学校中に広がるとき、第四中学校はさらに魅力ある学校になっていくはずで、その積み重ねこそが、本校が目指す「真の学力」につながります。2学期の前半は、一人ひとりが大きく成長する絶好の機会です。前向きな挑戦と仲間への応援を大切にしながら、充実した2学期にしていきたいと思います。



《9月の予定》

9月	給食	学 校 行 事	E 組 予 定	部活動	図 書 館
1	火	○ 生徒会役員選挙⑤⑥	役員選挙	○	○
2	水	○		×	△
3	木	○ (⑥委員会決め)		○	○
4	金	○		○	○
5	土			○	地域開放
6	日			○	—
7	月	○ 専門委員会(後期始)		○	□
8	火	○ 防災の授業(1・2) 代表委員会(後期始)		○	○
9	水	○ 中間考査 1 週間前 13:20 完全下校		×	△
10	木	○		×	○
11	金	○		×	○
12	土			×	地域開放
13	日			×	—
14	月	○ 生徒朝礼		×	○
15	火	○		×	○
16	水	○ 中間考査始		×	×
17	木	○ 中間考査終 放課後の活動原則なし 小学生体験授業 13:45-14:35 ガイダンス	小学生体験授業	×	×
18	金	○ 復習確認テスト(3)		○	○
19	土			○	地域開放
20	日			○	—
21	月	敬老の日		○	—
22	火	国民の休日		○	—
23	水	秋分の日		○	—
24	木	○ 音楽会練習始 特別時間割始		○	○
25	金	○		○	○
26	土			○	地域開放
27	日			○	—
28	月	○ 全校朝礼 教育実習(後期)始		○	○
29	火	○ 1 年リハ③④ 2 年リハ①② (リハのみ学校公開)		○	○
30	水	○ 3 年リハ③④(小学生参観、リハのみ学校公開)		×	○

10月の主な予定:
 1(木)～3(土)学園公開、5(月)わたしたちの音楽会、15(木)第2回進路説明会(3)、20(火)・22(木)・24(土)小学生部活動見学
 26(月)～30(金)教育相談週間(1)(2)、進路面談(3)

「三鷹中央学園」通信

三鷹中央学園 CS 教職員合同熟議

7月22日(水)、学園会議において、CS教職員合同熟議が行われました。コミュニティ・スクール委員、地域の方々、教職員が参加し、「子どもたちの地域への愛着や貢献意識を高めるために」をテーマに、12のグループに分かれて熟議を行いました。

熟議では、子どもたちがどのような場面で地域とつながり、地域に貢献しているのかを共有するとともに、その価値を子どもたち自身が実感できるようにするための方策について活発に話し合いました。また、小・中学校の9年間を見通しながら、発達段階に応じてどのような経験を積み重ねることが大切かについても意見を交わしました。学びを深めるとともに、学園生のめざす姿である「地域・社会に貢献する人」の育成に向けた方向性を共有することができました。